

なるほどのう



学校教育担当
キャラクター
甲斐善之助

西部教育局からのお役立ち情報

今月のトピック紹介版

9月号

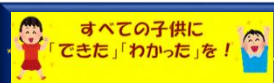


【令和5年度 全国学力・学習状況調査の出題から見える指導のポイント】
小学校算数科で求められる「説明する力」

【学校訪問からの好事例紹介】
1人1台端末を効果的に活用し、
主体的に学ぶ姿を引き出す授業実践

特別支援教育ほっと通信
令和6年度使用教科書需要数報告
事前審査会で気付いたこと

【西部地域開催】
鳥取県エキスパート認定教員による公開授業の御案内



【令和5年度 全国学力・学習状況調査の出題から見える指導のポイント】 小学校算数科で求められる「説明する力」

西部教育局
お役立ち情報
令和5年9月号

算数科の学習においては、言葉や数、式、図、表、グラフなどを用いて、筋道を立てて説明したり論理的に考えたりして、自ら納得したり他者を説得したりすることが求められています。

授業のねらいを「○○○を考えて説明しよう。」と設定する場合があります。
何が問われていて、何を説明するのか(事実、方法、理由)を明確にした上で、必要な要素について話し合うことが大切です。
※単元到達度評価問題にも説明する問題を出題しています。そちらもぜひ、参考にしてください。

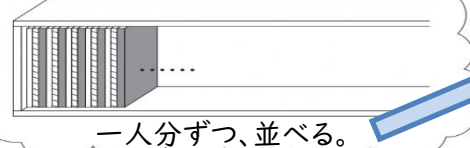
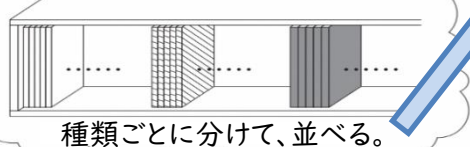
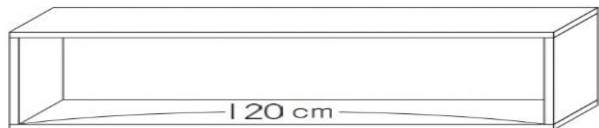
方法の説明
(1)自分の解決方法
(2)他者の解決方法

《令和5年度全国学力・学習状況調査問題より》

問題3-(2) 示された日常場面を解釈し、少数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できるかどうかをみる。

けんたさんの学級では一人が3種類のファイルを1冊ずつ使うことにしました。それぞれのファイルの厚さは、1.4cm、1.6cm、2cmです。けんたさんの学級の人数は23人です。

下のような、はば120cmのたなに、ファイルを全部並べて入れることができるかどうかを考えています。



けんた

あやね

3種類のファイル23人分を全部並べた長さは、何cmですか。

全部並べた長さの求め方を、式や言葉を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

さらに、たなにファイルを全部並べて入れることができるかどうかを、下の1と2から選んでその番号を書きましょう。

1. 入れることができる。
2. 入れることができない。

正答率

全国	56.7%
鳥取県	55.0% (-1.7)

【学習指導要領における領域・内容】

[第3学年] A 数と式 (5) ア(イ)
[第4学年] A 数と式 (4) ア(エ)、イ(ア)



Aさん

けんたさんは、種類ごとに分けて並べるとあるから、**ファイルの種類ごとに23人分の長さを求め、それらの合計を求めます。**

式： $1.4 \times 23 + 1.6 \times 23 + 2 \times 23 = 115$
答 115cm



Bさん

あやねさんは、1人分ずつ並べるとあるから、**1人分のファイルの長さを求め、その23人分の長さを求めます。**

式： $(1.4 + 1.6 + 2) \times 23 = 115$
答 115cm



Cさん

2人の考えとはちがいますが、1.4cmと1.6cmは、合わせると3cmになるので、**まず、2種類のファイルの厚さを合計し、その23人分の長さを求めます。それと残りの1種類のファイル23人分の長さの合計を求めます。**

式： $(1.4 + 1.6) \times 23 + 2 \times 23 = 115$
答 115cm

☆場面を解釈して、数量の関係を捉え、式を用いて説明することができるようにすることが大切!

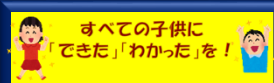
【説明3類型を意識しながら、子ども達が知識・技能を活用して思考・判断・表現することを促す場面をつくる】
(※図や絵だけ示しておいて…)

- ◎「○○さんの考えた並べ方だと、どんな式になる?」【方法】
- ◎「けんたさん、あやねさんの考えに合うのは、それぞれどの式かな?」【方法】
- ◎「式のかっこの中は、何を表している?(絵だとどの部分?)」【事実】
- ◎「Cさんの式だと、どんな並べ方になる?(絵で表してみて)」【事実】
- ◎「Cさんは、どうしてわざわざこんな式にしたのかな?」【理由】

参考「お役立ち情報」



(R3.7「方法」) (R3.10「事実」) (R3.9「理由」)



1人1台端末を効果的に活用し、主体的に学ぶ姿を引き出す授業実践

米子市立車尾小学校の実践より

社会科：わたしたちの生活と食料生産
「くらしを支える食料生産」（第5学年）

全国の実践事例



文部科学省
「StuDX Style」



ポイント1 導入において、活動内容を可視化する。



Jamboard の背景に白地図をはりつけたページを、班の数だけ用意します。児童は、自分の班のページ上で、スーパーマーケットのチラシにのっている食料品を産地ごとに整理していきます(①)。先生がやり方を実演して見せることで、どの子も見通しを持って取り組むことができます。

A1
教員による教材の提示

画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用

ポイント2 学習課題にせまるために、複数の資料を使い、協働しながらお互いの情報を結び付ける。



「食料の産地にはどのような特色があるのか」について、班ごとに気付きをまとめていきます。

Classroom の掲示板を使い、先生が2つの情報(②③)を追加しました。①食料品を産地ごとに整理したもの ②日本の降水量と気温 ③日本の土地利用を班の中で分担し、各自の端末上で参照します。自分が担当した資料から分かることを伝え合う中で、お互いの情報を結び付け、産地の特色について推論していきます。

主体的に地図帳や資料集を開き、さらに情報を得ようとする姿も見られました。

C3
協働制作

グループでの分担、協働による作品の制作



ポイント3 他の班の学びの様子も見ながら、班の中で出た意見を整理し、まとめる。



班ごとに、意見を思考ツール(Yチャート)で整理していきます。**Jamboard** を使うことで、端末上で他の班の学びの様子を見ることもできます。

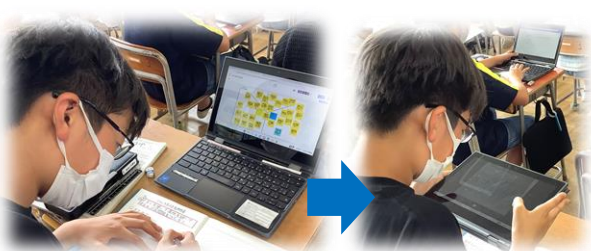
ICTを活用すると、全体での共有もスムーズにできます。友だちの発表を聞きながら、手元の端末で拡大して確認する姿も見られました。



C1
発表や話し合い

グループや学級全体での発表・話し合い

ポイント4 まとめや振り返りの記録を、児童と先生がデータで共有する。



まとめで書いたものを写真にとり、**Classroom** へ提出することで、児童も先生もデータでいつでも確認することができます。

振り返りは、授業中に **Forms** を使って行うことで、早く集約し、次の授業に活かすことができます。

B1
個に応じる学習

一人一人の習熟の程度等に応じた学習



特別支援教育ほっと通信

令和5年9月
西部教育局

令和6年度教科書需要数事前審査会（以下、事前審査会という）で気付いたこと

↳ 使用教科書需要数報告受取審査会から名称を変更しました

西部地区の小・中・義務教育学校に在籍する子どもたちが、次年度使用を予定している教科書について、冊数や種類等を確認する上記の会を8月24日（木）に開催しました。その中で、【継続が大切な事例】【見直しが必要な事例】を紹介します。（特別支援学級関係）

【継続が大切な事例】

◎次年度の教育課程を検討した上で、教科書が選定されていた。

→長期的な視点で子どもたちの姿をイメージすることにもつながります。

◎各学校において、特別支援学級の子どもたち一人一人の教科書給与リストが丁寧に作成されていた。

→二重給与の防止につながります。

↳以前に給与している学年の教科書を再度給与することはできません。教科書の採択替えが行われても同様です。

→過給与の防止につながります。

↳知的障がい特別支援学校の各教科に替えた教育課程の場合、教科書は教科ごとに1冊の給与となります。

→通常学級から特別支援学級に措置変更した場合、学びの履歴を明確にするためにも、1年生まで遡って教科書給与リストが作成されることが望ましいです。

【見直しが必要な事例】

▲検定教科書と一般図書が同時に給与されているケースがあった。

→知的障がい特別支援学校の教科のねらいや内容を十分に理解し、教育課程を編成することが重要です。

その上で、子どもの力を最大限に伸ばすために効果的な教科書を選定しましょう。

子どもの学びの状況によっては、8月時点に想定していた教育課程を変更し、教科書を再選定されるケースがあると思います。その場合は、必ず所管の市町村（学校組合）教育委員会に報告するとともに、事前審査会に提出された教科書給与リストも修正・提出してください。



【参考】令和5年6月ほっと通信
「特別支援学級の教科用図書について」



子ども一人一人の実態に応じた次年度の教育課程の編成及び最終確認は、担任や特別支援教育主任等が中心となり、3月末までにお願いします。その教育課程に基づいた教科書の納入指示をお願いします。（納入指示後に教育課程を変更しないこと）



鳥取県エキスパート認定教員による 公開授業の御案内

チャンス!
優れた教育実践を行っているエキスパート教員の授業を参観することは、教育技術を学ぶとてもよい機会です。教科等の指導技術や児童生徒がいきいきと学ぶ環境づくり等、具体的な姿から指導のコツやポイントを学ぶことができます。ぜひ、御活用ください。

認定分野

「中学校 国語」

米子市立東山中学校

米子市車尾617番地

●授業者
飯塚 洋介 教諭

授業日

9月6日
(水)

8月23日(水)
申し込み
締め切り

●開催時間【受付】 13:20~13:40
【公開授業】13:40~14:30
【研究協議】15:20~16:40

●授業内容【单元名】オオカミを見る目
・本文の内容から、「筆者に質問する内容を考える」という言語活動を柱に、より深い意味内容の理解、構成や展開の工夫の理解、発展的な読解を目指す。
・筆者の高槻成紀氏に直接質問することで、表現力の育成やより深い理解につなげる。(オンラインによる参加)
・弓ヶ浜中学校との意見交換を行い、より多面的で多角的な理解を目指す。

認定分野

「中学校 理科」

境港市立第二中学校

境港市竹内町2438番地

●授業者
横田 勲 教諭

授業日

9月14日
(木)

9月11日(月)
申し込み
締め切り

●開催時間【受付】 13:25~13:35
【公開授業】13:45~14:35
【研究協議】14:45~15:35

●授業内容【单元名】水溶液の性質
・物質が粒子でできていることを、実感を伴って理解することが重要だと考える。物質が粒子でできていることをもとに、物質が水溶液に溶けても質量が変わらないことや、水溶液中に一樣に広がって物質が沈んでこないことを説明できるようにしたい。特に、溶質が粒子でできていることは理解しやすい反面、溶媒も粒子でできていることには気づきにくい。様々な事象が説明できるように、自分の考えを説明できるような授業を目指したい。

過去の動画 アクセス方法

鳥取県 学校教育支援サイト



新着情報

- 2023年4月11日 **令和4年度エキスパート教員動画**
- 2023年2月17日 「とっとりメタデータから実践技術動画」について
- 2022年7月22日 令和4年度鳥取県教育課程研究会(中学校)特別支援学校部会
- 2022年7月22日 令和4年度鳥取県教育課程研究会(中学校)特別活動部会
- 2022年7月22日 令和4年度鳥取県教育課程研究会(中学校)総合的な学習の時間部会

ここをクリック!



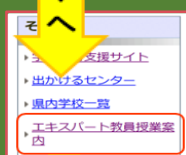
- ①学校教育支援サイトを立ち上げる。
 - ②新着情報の欄の「令和4年度エキスパート教員動画」をクリック!
- ※昨年度公開された授業の中で、いくつかの実践を短い動画にまとめております。ぜひ、ご視聴ください。

参加申し込み アクセス方法



このページより
参加申し込みにアクセス!

- ①教育センターのトップページを開く。
- ②「その他」の「エキスパート教員授業案内」をクリック!
- ③参観したい校種をクリック!
- ④一覧表に添付されている「ファクシミリ送信票」を開いて印刷
- ⑤必要事項を記入し、実施校の学校長宛てにファクシミリで直接送付



※開催案内とファクシミリ送信票は、各校へC4thで送付されています。